



さるとりいばら・山帰来(さんきらい)
いばらもちや小麦粉を練った生地で小豆あんを包んで、サルトリイバラの葉っぱで挟んで蒸しあげた素朴なお菓子です。農繁期のおやつとして関西で作られていました。
春の葉っぱは天ぷらや和え物として食べることも出来、秋に熟する赤い実はそのまま食べられ果熟酒にもなります。根茎は、漢方薬の利尿、解熱、解毒、浄血剤として用いられています。

～学童部より～

『みんな真剣に取り組みました』
学童部では年間2回の避難訓練を実施しています。

子どもたちは、震災の様子をニュースなどで見たと口々に話し、この地域でも、いつ起こるかも分からないということを知っている子もいました。

事前説明の後

「地震です！地震が起こりました！机の下に入り、頭、背中を守って！」「早く頭入れな」「こっちは空いとるよ」と声を掛け合い、確認しあって訓練しました。

おかしの約束なんだった

おさない

かけない

しゃべらない



デイサービスでのスナップ



あんたがたどこさ・・・



色々な苗を植えました



リクレーションインストラクター等の資格のある新しいスタッフと一緒にダンスや平行棒のメニューが増えました



ハラハラ・どきどき



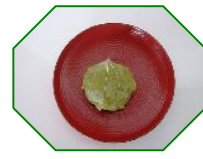
マンツーマンで足の運動



絵手紙
楽しく描きました



アサリで根付けの製作も手の訓練です



皆でいばらもちを作りました

布に描いた厚生学童のこいのぼり！！



～エコキャップ～
今回の回収個数：9,800個
累計個数：30,200個
現在、37.7人分のワクチンを購入しました。
昨年2月から茨城県の廣田製作所に送っていましたが、今後は市の清掃課に届けます。



御協力ありがとうございました

四月に石巻に絵本をとお願いしたところ、多くの協力いただき品物はダンボール六箱となり、デイ・学童の寄せ書き等を添えて、四月十四日に大須小学校に送りました。
現地をボランティアで訪れた方たちが、昼ごはんはおにぎり・パンで過ごしてみえることを聞き、真空パックの料理を届ける事としました。準備が出来て、クロネコさんに連絡をすると、石巻は現地の事業所も被災し、冷凍品の保存が出来ず配送不可能との事でした。知人の石巻の歯科医師松尾先生に連絡し、仙台に送り、それを先生が車でとりに行き、石巻の大須学区の避難所に配っていただくことになりました。先生にはお世話をお掛けしました。その後、小学校の久光教頭先生からお礼の電話を頂きました。このような災害時に、気持ちだけの品に丁寧なお礼のお言葉に恐縮いたしました。松尾先生からも皆様によくいただくお言葉をいただいています。六月初旬にも料理を送る準備をしています。

藍ちゃんの家に届いた支援品
絵本 200冊
タオル・そうめん
紙おむつ [藍ちゃんの家に
寄付されていたもの]
寄付金 62,844円

石巻に送った料理
冷凍にして 各30食分
煮込みハンバーグ
照り焼きチキン
鯖の味噌煮
大豆の五目煮
刻み昆布の煮物
筑前煮